

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号
特許第4481630号
(P4481630)

(45) 発行日 平成22年6月16日 (2010. 6. 16)

(24) 登録日 平成22年3月26日 (2010. 3. 26)

(51) Int. Cl.

F I

EO3C 1/06 (2006.01)

EO3C 1/06

A47K 5/12 (2006.01)

A47K 5/12

Z

請求項の数 12 外国語出願 (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2003-412793 (P2003-412793)	(73) 特許権者	599161339
(22) 出願日	平成15年12月11日 (2003. 12. 11)		ハンスグローエ アーゲー
(65) 公開番号	特開2004-285818 (P2004-285818A)		ドイツ連邦共和国 デー 7 7 7 6 1 シ
(43) 公開日	平成16年10月14日 (2004. 10. 14)		ルタッハ、 アウエストラッセ 5-9
審査請求日	平成18年11月10日 (2006. 11. 10)	(74) 代理人	100074538
(31) 優先権主張番号	10260203. 4		弁理士 田辺 徹
(32) 優先日	平成14年12月13日 (2002. 12. 13)	(72) 発明者	マクダレーナ ファイシュト
(33) 優先権主張国	ドイツ (DE)		ドイツ連邦共和国、デー7 7 7 6 1 シル
			タッハ、ピッケンマオイアーレ 1 9

審査官 渡邊 聡

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 シャワーヘッドホルダ取付け用装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

壁取付けロッド（1）と、
壁取付けロッド（1）に沿って摺動され得るシャワーヘッドホルダ（5）と、
シャワーヘッドホルダ（5）のための主要ガイドとを有し、その主要ガイドが前方を向
いていて、シャワーヘッドホルダ（5）の高さ位置が調節可能であるように主要ガイドに
シャワーヘッドホルダ（5）を取付けるシャワーヘッドホルダ取付け用装置であって、
衛生用品または衛生設備用品（9，10）のための少なくとも1つの補助ガイドを有し

、
補助ガイドが、主要ガイドと独立していて、主要ガイドに対して平行に位置合わせされ
ており、主要ガイドおよび補助ガイドの少なくとも一方が、1つまたは複数の溝（3，1
8）の形に形成されていて、好ましくは切込んだ1つまたは複数の溝（3，18）の形に
形成されていることを特徴とする、
シャワーヘッドホルダ取付け用装置。

【請求項 2】

補助ガイドの形状が、少なくともそれらの長さ部分の一部に関してシャワーヘッドホル
ダ（5）の主要ガイドの形状と全く同じであることを特徴とする、請求項 1 に記載の装置
。

【請求項 3】

補助ガイドの形状が、シャワーヘッドホルダ（5）の主要ガイドの形状とは異なってい

ることを特徴とする、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

補助ガイドが側方に向いていることを特徴とする、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 5】

補助ガイドが、壁取付けロッド（1）の後部表面上および／または壁取付けロッド（1）の後部表面の近傍に配置されることを特徴とする、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 6】

主要ガイドに対して対称的に配置される、1 対の補助ガイドを有することを特徴とする、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の装置。

10

【請求項 7】

壁取付けロッド（1）を壁に取付ける少なくとも 1 つの壁ブラケット（2）を有することを特徴とする、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 8】

壁ブラケット（2）が、シャワーヘッドホルダ（5）の調節を妨害しないようにして形成されることを特徴とする、請求項 7 記載の装置。

【請求項 9】

壁ブラケット（2）が、壁取付けロッド（1）に対して、その長さ部分に沿ったどこにでも取付けられ得るようにして形成されることを特徴とする、請求項 7 または請求項 8 に記載の装置。

20

【請求項 10】

壁ブラケット（2）が、少なくとも 1 つの補助ガイドに係合し、好ましくは両方の補助ガイドにも係合することを特徴とする、請求項 7 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 11】

壁ブラケット（2）が、壁取付けロッドの 2 つの同軸的な部分（1 a，1 b）を接合するように設計されることを特徴とする、請求項 7 ～ 10 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 12】

ガイド溝（3）が、シャワーホース（9）を収容するように形成されることを特徴とする、請求項 1 ～ 11 のいずれか 1 項に記載の装置。

30

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、シャワーヘッドホルダ取付け用装置に関し、シャワーヘッドの高さ位置が調節可能であるように取付けるシャワーヘッドホルダ取付け用装置に基礎を置く。

【背景技術】

【0002】

シャワーヘッドをその高さが調節可能であるようにするためのものとして周知の取付け用装置は、壁の前方またはその上のいずれかに取付けられ、シャワーヘッドのホルダが、それに沿って摺動されることが可能であるガイドを有する垂直方向の壁取付けロッドである。シャワーヘッドは、通常、ホルダから取外され得るものであり、家屋の給水システムに対してシャワーホースによって接続される。ホルダは、水平方向軸の廻りにおいてシャワーヘッドをピボット回転させるための設備を有する。多くの事例では、ホルダは、壁取付けロッドの長手方向軸であるか、或いは壁取付けロッドが輪郭形成されたストックの長さ部分である場合にはガイドに対して平行な軸の廻りのいずれかである、垂直方向軸の廻りにおいてピボット回転されることもまた可能である。

40

【0003】

例えば、液体石鹸、ブラシなどのためのホルダであり、ユーザーがシャワーを浴びる間に必要とするかまたは利用可能であることを所望する付属物アイテムが、壁取付けロッドに取付けられ得ることもまた周知である。これらの付属物アイテムは、一定の高さに位置

50

決められるようにして、例えば壁取付けロッドの底端部上のコンソールに取付けられる。それらの高さが調節可能であるようにしてそのような付属物アイテムが取付けられる場合、およびシャワーヘッドホルダを取付けるために使用されるものである同じ輪郭形成されたガイドが採用される場合には、シャワーヘッドホルダの移動は、当然ながら制限されることになる。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

本発明の課題は、シャワーヘッドホルダの調節範囲がその他の付属物アイテムによって制限されない、調節可能なシャワーヘッドホルダおよび少なくとも1つのその他の付属物アイテムを取付ける装置を提供することにある。

10

【課題を解決するための手段】

【0005】

その課題を解決するために、本発明は、請求項1において記述された各特徴を有する装置を提供する。本発明に関する実施形態は、その従属請求項によってカバーされる。

【0006】

補助ガイドは、シャワーヘッドホルダの壁取付けロッドと同じ調節範囲を提供する必要がないようにして、壁取付けロッドに対して平行に取付けられるロッドであっても良い。

【0007】

本発明の実施形態によれば、補助ガイドは、シャワーヘッドホルダの主要ガイドに対して平行に位置合せされるように規定されることが可能である。

20

【0008】

本発明の実施形態によれば、補助ガイドの輪郭および断面形状は、シャワーヘッドホルダの主要ガイドのものと全く同じであり、必須ではないが、同じ長さをも有し得るようにして、規定されることが可能である。例えば、貯蔵トレーに関して選択される調節範囲は、異なっていることが可能である。何故なら、貯蔵トレーは、当然ながら、オーバーヘッド式のシャワーヘッドとして使用される場合にはユーザーの身長を越える高さに取付けられるべきであるシャワーヘッドのホルダと同じ程度の高さに取付けられる必要がないからである。

【0009】

30

補助ガイドの輪郭がシャワーヘッドホルダの主要ガイドの輪郭と全く同じである場合、その補助ガイドは、主要ガイドと同じアイテムを取付けるために採用されることも可能であり、同じホルダが採用され得る事例では第2のシャワーヘッドの主要ガイドとして採用されることさえも可能である。

【0010】

しかしながら、シャワーヘッドの主要ガイドの輪郭とは異なった輪郭を有する補助ガイドを採用することもまた、実行可能であり、かつ本発明によってカバーされるのであり、「異なった輪郭」は、異なった形状の断面または異なった長さ部分のいずれかであると解釈されることが可能である。それが異なった輪郭を有する場合であっても、補助ガイドは、それでもなお、必要に応じて、第2のシャワーヘッドを取付けるために採用されることが可能であり、第2のシャワーヘッドは、必要に応じて、第1のものとは異なっていることが可能である。異なった機能を有する数個のシャワーヘッドを様々なガイドに取付けることもまた、実行可能である。例えば、側面取付けシャワーヘッドは、特に壁取付けロッドが2つの部分によって構成される場合には、補助ガイド上を案内されることが可能である。何故なら、側面取付けシャワーヘッドの高さは、通常、主要シャワーヘッドの全調節範囲にわたって調節される必要がないからである。補助ガイドは、主として、シャワーヘッドホルダとは異なって処置される付属物アイテムを収容するためのものとして意図されているので、本発明によれば、補助ガイドは、それに関わる付属物アイテムの様々な処置に適合するようにして適応されることが可能である。例えば、付属物アイテムの調節範囲は、主要ガイドに関する調節範囲と同じである必要がない。その一方で、それに関わる調

40

50

節の形式は、異なって形成されることが可能である。何故なら、付属物アイテムの高さは、しばしば、全く変更される必要がないからである。更になお、互いの移動を制限する数個の衛生用品が、補助ガイド上に収容されることもまた可能である。しかしながら、これは、所定の状況下では、意図的なものである可能性もあり、或いは少なくとも何の問題も提起しないかもしれない。貯蔵トレーは、通常、シャンプーのボトル用のホルダよりも低い高さに取り付けられるのである。

【0011】

主要ガイドは、シャワーヘッドホルダのためのものとして意図されているので、本発明の実施形態によれば、シャワーヘッドホルダの主要ガイドは、前方（正面）を向いているが、補助ガイドは、一方の側面に配置されると共に側方を向いており、輪郭形成されたストックの長さ部分の形態を採って形成される壁取り付けロッドの場合には、ガイドが側方に向かって正確に方向付けされることを条件として、例えば、実施形態によれば、輪郭形成された壁取り付けロッドの後部表面の近傍に配置され得るようにして規定されることが可能である。

10

【0012】

本発明の実施形態によれば、シャワーヘッドホルダの主要ガイドおよび／または補助ガイドは、溝好ましくは切込んだ溝を有するようにして形成されると規定されることが可能である。切込み部は、それに関わるそれぞれのアイテムの各ホルダを保持するためのとりわけ簡単な手段を可能にする。

【0013】

ユーザーの習慣およびニーズに対してその装置をより有効に適合させることを可能にするために、本発明の実施形態によれば、壁取り付けロッドまたは壁取り付けレールは、好ましくは、シャワーヘッドホルダの主要ガイドに対して対称的に配置されて形成される1対の補助ガイドを有するように規定されることが可能である。その場合には、例えば左利きの人に合わせるような現場での適応が実行され得ることになり、各ユーザーが彼ら自身で彼らの付属物アイテムをロッドまたはレールの左側に取付けたいのか或いは右側に取付けたいのかを決定することさえも可能になるのである。

20

【0014】

当然ながら、1対の補助ガイドを取付けることは、前述の問題、すなわち単一のガイドのみが存在する場合には2つの付属物アイテムがそれらの調節範囲を分け合わなければならないという問題を解決することをも可能にする。

30

【0015】

壁取り付けロッドまたは壁取り付けレールを取付けるためには、当然ながら、最も単純な事例では、それは、ロッドまたはレールの中の開口部を介して挿入されるネジを使用して、壁にネジ留めされることが可能である。しかしながら、本発明の実施形態によれば、それに対して壁取り付けロッドが取付けられ得る壁ブラケットが、一旦そのブラケットが壁にネジ留めされたならば、壁取り付けロッドを取付けるために採用されることも可能である。壁ブラケットの採用は、壁への取付けを実質的に見えないものとする。その場合には、本発明の実施形態によれば、壁ブラケットは、シャワーヘッドホルダの調節を妨害しないようにして形成されると規定されることが可能である。詳細には、壁ブラケットは、その長さ部分に沿った任意の個所において壁取り付けロッドに取付けられることが可能であり、修理の後に壁ブラケットが以前に取付けられていた同じ個所において壁ブラケットを壁に固定することを可能にすると規定されることが可能である。従って、初期の期日にドリル穿孔されていて、壁のどこかに残ってしまっていて、後で埋め直されなければならないような孔が、何も存在しないことになるのである。

40

【0016】

これらの目的を達成する特に適切な機会には、本発明によって提供される少なくとも1つの補助ガイドに、好ましくは両方の補助ガイドに係合する壁ブラケットを含み、それに関わる付属物アイテムの調節範囲を制限するが、前述のように付属物アイテムの調節範囲がいずれにせよ非常に広範である必要はないので、それに対して実質的な悪影響を何も与え

50

ない。

【0017】

本発明によれば、壁ブラケットは、壁取付けロッドの2つの部分が接合される場所において取付けられ、それが壁取付けロッドの両方の部分を位置合せして固定するようにして形成されることが可能である。そのことは、その後、シャワーヘッドホルダの連続的なガイドを形成し、或いは形成し続けるようにして接合されることが可能になる数個のコンポーネントから、壁取付けロッドまたは壁取付けレールを組立てることを可能にするのである。

【0018】

本発明によれば、シャワーヘッドホルダの主要ガイドの溝は、それと同時にシャワーホースを収容することも可能である。更に、クランプが、シャワーホースがガイドの中に留まるように規定することもまた可能である。このクランプは、補助ガイドの中に挿入されることが可能である。

10

【0019】

本発明のその他の特徴、詳細および利点は、いずれも発明の詳細な説明の内容に組み込まれ、各請求項および要約書と、本発明の好適な実施例に関する以下の説明とにおいて説明されるようなものであり、添付図面において示されるようなものでもある。

【実施例】

【0020】

図1は、1対のホルダ2を使用して壁に固定される、輪郭形成された形状を有する壁取付けロッド1を示している。壁取付けロッド1は、その前部表面上、すなわち壁の反対側に向いた表面上において、頂部から底部まで延在する連続的な溝3を有する。例えば摩擦または保持要素によって適所に保持され得るスライダ4は、溝に沿って摺動され得るようにして溝の中に挿入される。ハンドヘルド式シャワーヘッドのグリップのためのレセプタクル6をその自由端部の近傍において有するホルダ5は、スライダ4に対して取付けられる。レセプタクル6は、水平方向軸の廻りにおいてピボット旋回可能である。ホルダ5は、スライダ4を使用して、キャップ7によって形成されるその上側端部から異なったキャップ8が存在するその下側端部まで、溝3の全長にわたって摺動されることが可能である。キャップ8は、溝3の延長部分を組込んでいる。

20

【0021】

図2は、壁取付けロッド1が2つの部分すなわち上側部分1aおよび下側部分1bによって構成される実施例を示している。この事例では、中央ホルダ2が壁取付けロッドの2つの部分の接合部に正確に配置されて、接合部の統合性と両者の部分の調節とが保証されるようにして、3つのホルダ2が、そのロッドを壁に固定する。

30

【0022】

両者の図面では、ガイドの中に配置されていて、その目的が以下で説明されることになる貯蔵トレー9は、溝3の右側において壁取付けロッド1に取付けられる。貯蔵トレー9は、溝3の中におけるスライダ4を妨害することなく、溝の中を上向きに摺動されることが可能である。

【0023】

ホルダ5の調節を妨害することなく高さ調節可能であるシャンプーのボトル11用のホルダ10は、溝3の左側に、従ってハンドヘルド式シャワーヘッドのホルダ5の左側に取付けられる。

40

【0024】

同じ要素は、図2において示された実施例の場合にも存在する。

【0025】

図3は、図1において示された装置の正面図を示している。ここでは、壁取付けロッド1上に保持されて案内される3つの要素、すなわちハンドヘルド式シャワーヘッドのホルダ5、貯蔵トレー9およびシャンプーのボトル11用のホルダ10は、調節されるとき互いに邪魔にならないということが、図1よりも明瞭に観察されることが可能である。

50

【0026】

図4は、壁取付けロッド1を形成する、輪郭形成されたストックの長さ部分の断面図を示している。ここに含まれているものは、凸状に湾曲した前部表面12上においてスライダ4を案内する(図1を参照)ために使用される、切込んだ溝3を有する中空の輪郭形成されたストックの長さ部分である。切込んだ溝3は、平坦な基部13、その基部に直角に位置する2つの側壁14、および2つの切込み部15を有する。

【0027】

輪郭形成されたストックの長さ部分は、その前部表面12の反対側において、平坦でありかつ平坦なストリップ17によってその側面を限定して形成される後部表面16を有する。壁取付けロッド1の輪郭形成は、その後部表面16に直に隣接して、1対の切込んだ溝18を組込んでいる。各々のこれらの切込んだ溝18は、各図面で示された付属物アイテムのためのガイドを形成するものであり、これらの溝は、当然ながら、その他の付属物アイテムを案内するために使用されることもまた可能である。1対のガイド18は、側方に向いている。すなわち、各ガイドに移行する各スロットは、壁取付けロッドの前部表面に対して直角に方向付けされるのである。ガイド18は、それらの分離が輪郭形成された壁取付けロッドの最大幅よりも小さくて、各ガイドが正面からは見えないようにして、配置される(図3を参照)。

【0028】

壁取付けロッド1を形成する輪郭形成ストックの長さ部分は、金属によって構成され得るものであるが、例えばプラスチックによって構成されることも可能である。クラスプ19は、右側のガイド18の中に挿入される。このクラスプ19は、溝3に移行するスロットのエッジを僅かに越えて延在するものであり、溝3の中に挿入されるホースは、クラスプ19の先端部20によって適所に保持される。

【0029】

図5は、図4のものよりも大きな縮尺で描写された壁ブラケット2の断面図を示している。壁ブラケット2は、図示された具体例の場合には、座繰り孔22によって取り囲まれている少なくとも1つの貫通孔21を組込んでいる。ネジは、孔22を介して挿入されるものであり、壁ブラケットは、壁にネジ留めされることが可能になる。壁ブラケットは、壁に面する壁取付けロッド1を形成する輪郭形成ストックの長さ部分の当該表面の輪郭に適合する嵌め合い表面を有する。従って、その対向するローブ23の対は、各ガイド18に係合するのであり、それによって、ホルダ2を輪郭形成された壁取付けロッド1に固定する。壁ブラケットの長さ部分、すなわち図5の断面平面に対して垂直であるその延長部分が十分であるならば、それは、図2で示された様式に従って壁取付けロッドの2つの部分を接合するために使用されることもまた可能である。

【0030】

壁ブラケット2は、実質的にその任意の個所において輪郭形成された壁取付けロッド1に取付けられることが可能であるので、それは、修理作業の後に既存の各孔を使用して壁にネジ留めされることが可能である。

【0031】

図6は、壁取付けロッド1に取付けられた付属物アイテムの頂面図を包含する、図1において示された装置のもう1つの断面図を示している。トレー9は、壁ブラケット2の下のポイントにおいてガイド18に係合する。当該トレーは、輪郭形成されたロッドの背後にまで延在し、輪郭形成されたロッドの後部表面に当接するようにして設計される。当該トレーは、ガイド溝18に係合するホルダ2上のものと同様な形状を有するローブ23を有する。このローブもまた、所定の長手方向の延長部分を有することが可能であり、それは、トレー9の有効な案内と保持とを提供する。このローブは、トレー9が自己固着式であるようにして、ガイド溝18の中に圧力嵌めされることがまた可能である。

【0032】

シャンプーのボトル11用のホルダ10もまた、それと同じ様式でガイド溝18に取付けられる。

【0033】

シャワーヘッドホルダ5のスライダ4は、例えば、ガイドローラ上において溝3の中を案内されることも可能である。図6は、ホルダ5が、ネジ頭部24によって示される垂直方向軸の廻りにおいてピボット回転され得ることを示している。

【0034】

図7は、壁取付けロッドが2つの接合された部分によって組立てられるシャワー装置の正面図を示している。先行する実施例の場合と同様に、トレイ9およびシャンプーのボトル用のホルダは、それぞれに、輪郭形成されたロッドの左右に配置される各ガイドに取付けられる。

【0035】

10

ハンドヘルド式シャワーヘッド27のホルダ26は、接合部25上の所定の位置において右側の補助ガイドに取付けられる。明快にするために、その給水ホースは、示されていない。

【0036】

明確にするためにそれらの給水管が示されなかった側面取付けシャワーヘッド28は、トレイ9の高さの下各位置において補助ガイドに取付けられる。これらの側面取付けシャワーヘッド28は、短い調節範囲のみを必要とするか、或いは全く調節される必要がないものである。何故なら、標準のホルダ6およびそれに付随のシャワーヘッドが、シャワーを浴びる流水のための頭上供給源を提供するために利用可能だからである。

【図面の簡単な説明】

20

【0037】

【図1】高さ調節可能であるハンドヘルド式シャワーヘッドの装置を示す図である。

【図2】2つの部分から組立てられる延長した壁取付けロッドを有する、図1のものに対応する装置を示している。

【図3】図1において示された装置の正面図である。

【図4】より大きな縮尺で描写された、図3において示された装置の断面図である。

【図5】水平方向平面において断面にされた、壁取付けロッドのホルダの断面図である。

【図6】より大きな縮尺で描写された、図3において示された装置の頂面図である。

【図7】図3において示されたものと同様な装置の正面図である。

【符号の説明】

30

【0038】

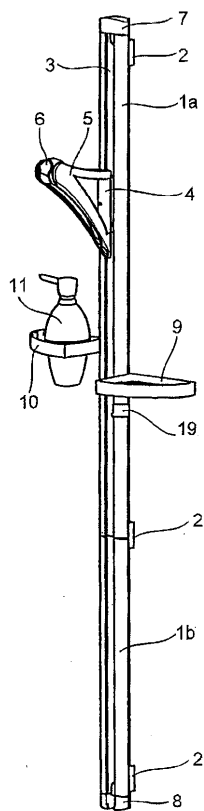
- 1 壁取付けロッド
- 1 a 上側部分
- 1 b 下側部分
- 3 溝
- 4 スライダ
- 5 ホルダ
- 7 キャップ
- 9 貯蔵トレイ
- 10 ホルダ
- 11 シャンプーのボトル
- 13 平坦な基部
- 16 後部表面
- 18 ガイド溝
- 19 クラスプ
- 20 先端部
- 23 ローブ
- 24 ネジ頭部
- 25 接合部
- 26 ホルダ

40

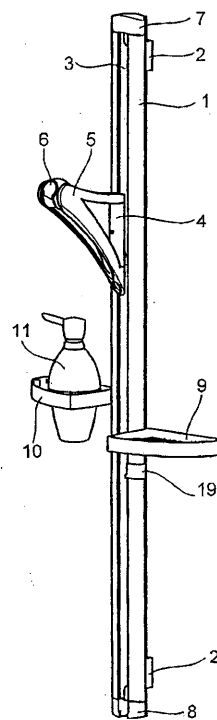
50

27 ハンドヘルド式シャワーヘッド

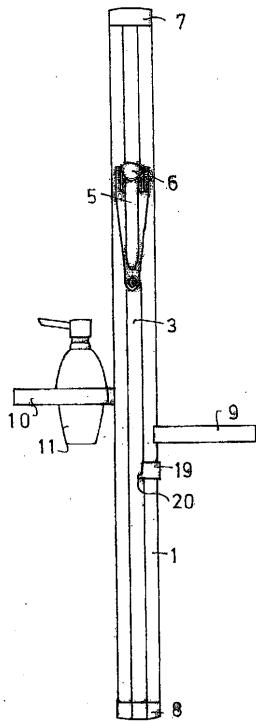
【図1】



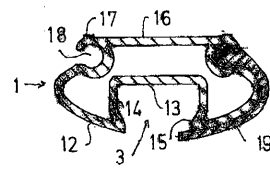
【図2】



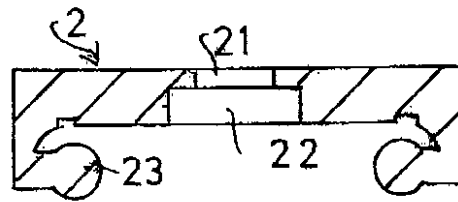
【図 3】



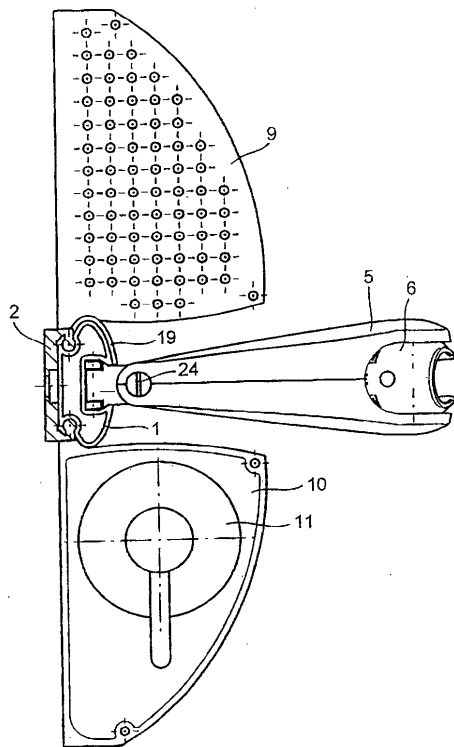
【図 4】



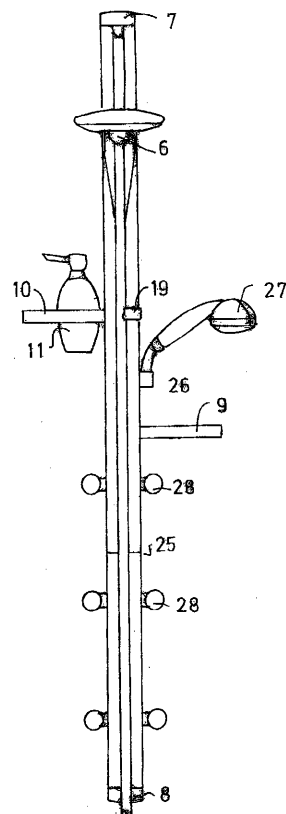
【図 5】



【図 6】



【図 7】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開平07-127110 (JP, A)
特開2000-023869 (JP, A)
実開平04-004960 (JP, U)
国際公開第03/027403 (WO, A1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
E03C 1/06
A47K 5/12